

■赤星鉄馬 父から巨額の財産を相続、学術財団(啓明会)設立はじめ各所への資金提供、ブラックバス移入はじめ釣りに生涯。

あかぼしてつま
新体詩抄・・・1882＝

東京府神田区猿楽町で、赤星弥之助の長男に生まれる。長姉しまは夭逝、次姉てるがいた。
_父弥之助は、薩摩藩で俊才輩出した磯永家の生れで、赤星家の養子になり、維新時の武器調達で飛躍し、巨万の富を築いていた。母シズは父のいとこ樺山資紀の姪でしっかり者。

帝国憲法発布1889＝7歳：

_父の実兄は、明治維新直前に、五代友厚らとイギリスに密航した留学生の一員で、アメリカに渡ってワイナリー経営に成功していた長沢鼎で、親友森有礼の密航時の偽名が沢井鉄馬であったことから、鉄馬と名づけられたらしい。母の従弟樺山愛輔が、多忙な父に代わる良き相談相手になる。

大津事件・・・1891＝9歳：

_幼少より、父に連れられて大磯で釣りをして、生涯の趣味となり、この頃には、狩猟も始めている。

日清戦争始・・・1894＝12歳：

資金集めに、一時帰国した長沢鼎が訪れ、その話から強く影響を受ける。

八幡製鉄始・・・1897＝15歳：

Bushidou・・・1899＝17歳：この年、父が大磯の別荘地を購入。

ピノコ産化・・・1900＝18歳：

田中正造直訴1901＝19歳：この年までに、妹とよ・ふさ・ふみ・すゑ・よしと、弟兵造・喜介・四郎・六郎が誕生。ふみと兵造は夭逝。この年の「日本全国長者番付」に、父弥之助が登場するが、肩書欄は空白で、富豪列伝にも登場しない。実際、武器ビジネスに関わる父は、自らのことを一切語ることが無かった。_東京中学を卒業。愛輔の強い勧めと準備に従って、渡米し、保証人長沢鼎に挨拶後、ローレンスビル・スクールに入学。

日比谷公園・・・1903＝21歳：

この年の「人事興信録」では弥之助は金貸業。_夏季休暇のカナダ遠征で、ブラックバスに出逢う。

日露戦争始・・・1904＝22歳：

*父弥之助が死去、葬儀で帰国、家督を継ぎ、莫大な遺産を相続、以後、各所から寄付の要請、タイのバンコクで写真館を開く年長のいとこ磯長海舟のもとを、宮崎滔天が訪れている。_七高(造士館)に父の遺志として多額の寄付。アメリカに戻り、卒業。再び、一時帰国し、父母ため、巨大な墓碑を建立。_再渡米して、ペンシルベニア大学に入学、アメリカの財閥子弟と交友、華麗な学校生活を送る。

満鉄発足・・・1906＝24歳：

この年の東京市の「地籍台帳」によれば、麻布鳥居坂の自邸のほか、一等地に複数の土地を有し、大磯には、ジョサイア・コンドルの設計で別荘を建設。宮崎滔天の手引きで、孫文が関係する会社のために、出資。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

アヲヲ創刊・・・1908＝26歳：

この年の東京市の「地籍台帳」によれば、麻布鳥居坂の自邸のほか、一等地に複数の土地を有し、大磯には、ジョサイア・コンドルの設計で別荘を建設。宮崎滔天の手引きで、孫文が関係する会社のために、出資。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

伊藤博文暗殺1909＝27歳：

教育召集を経て、予備役騎兵少尉に(のち後備役中尉)。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

韓国併合・・・1910＝28歳：

教育召集を経て、予備役騎兵少尉に(のち後備役中尉)。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

大逆事件判決1911＝29歳：

長男が誕生。_勅語で設立の慈善団体(済生会)に、著名財界人を凌ぐ、最高額を寄付、序列無視と批判。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

明治天皇没・・・1912＝30歳：

次男が誕生。コンドル設計の新居が完成。この間、山中湖畔、箱根にも別荘、弟たちは次々、渡米留学。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

大正政変・・・1913＝31歳：

(千代田火災保険)設立に出資して監査役、孫文を支える会社(中国興業)にも出資、実業家としての一歩。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

第一次大戦始1914＝32歳：

_新会館がオープンした(東京倶楽部)の定期会合に出席、同時設立の(東京ゴルフ倶楽部)の会員にもなり、一流人と交流。奥日光の(丸沼釣合)結成に関わり、早くもブラックバスの導入を考え始める。花柳界でも知られる存在になっていき、芸者に子が生まれても、隠さず養育費も出している。赤星家の資産運用保管の目的で、(泰昌銀行)を設立して頭取になり、軍馬育成策に対応する形で、朝鮮に、大規模な(成歓牧場)を設立するが、薩摩閥が絡んだシーメンス事件が起きたことから、自らは何の関係も無いにもかかわらず、一気に風当たりが厳しくなり、以後、世間から身を隠すような生活を送るようになる。

21ヶ条要求・・・1915＝33歳：

(中国興業)への出資のお礼と、さらなる支援を求めてか、孫文が来訪。バンコクの写真館を弟子に譲った磯長海舟が(成歓農場)を訪れ、以後、ここで暮らす。この間、_第一次世界大戦によるバブルで、四妹すゑが夭逝。_(泰昌銀行)は安泰、(成歓牧場)は大発展、美術市場も空前の活況となったことから、保有していた美術コレクションを売却。国宝級のものも含む空前絶後の「赤星家売立」と呼ばれ、五百万円(現在価値で百億円以上)の売却益から、百万円を投じて、「特殊ノ研究、調査、著作ノ助成」すべく、

民本主義・・・1916＝34歳：

(中国興業)への出資のお礼と、さらなる支援を求めてか、孫文が来訪。バンコクの写真館を弟子に譲った磯長海舟が(成歓農場)を訪れ、以後、ここで暮らす。この間、_第一次世界大戦によるバブルで、四妹すゑが夭逝。_(泰昌銀行)は安泰、(成歓牧場)は大発展、美術市場も空前の活況となったことから、保有していた美術コレクションを売却。国宝級のものも含む空前絶後の「赤星家売立」と呼ばれ、五百万円(現在価値で百億円以上)の売却益から、百万円を投じて、「特殊ノ研究、調査、著作ノ助成」すべく、

ロシア革命・・・1917＝35歳：

保有していた美術コレクションを売却。国宝級のものも含む空前絶後の「赤星家売立」と呼ばれ、五百万円(現在価値で百億円以上)の売却益から、百万円を投じて、「特殊ノ研究、調査、著作ノ助成」すべく、

本格政党内閣1918＝36歳：

*文部省管轄の、日本で最初の本格的な学術財団(啓明会)を設立、当時の国内の全研究助成費の2割を占めた。財団に赤星の名を冠することを固辞し、自身も親族も運営には一切関わらない方針を貫き、節目の式典などで、挨拶することもなく、資金提供者からこれほど独立した学術財団は世界的にも珍しい。

ベル仁条約・・・1919＝37歳：

三男が誕生。(啓明会)が第一回講演会を開催、以後、諸外国の理解、国際社会での日本などテーマも。_この年の「大日本百万長者一覽表」に、錚々たる実業家に並ぶ三百万円と記載。父の縁で、大阪の開業医の娘と結婚。政府関係者に随行して、夫婦で世界一周の新婚旅行。ヨーロッパで大使館つとめの吉田茂と出会い、親交始まる。帰国後、鳥居坂の自宅に、黒田清輝描く亡父の肖像画「赤星弥太郎」を掲げる。

大暴落・・・1920＝38歳：

大暴落を受けて、泰昌銀行の経営権を、松方巖(松方正義の長男)率いる十五銀行に譲渡、

原敬首相暗殺1921＝39歳：

四男が誕生。この頃には、(東京ゴルフ倶楽部)の役員をつとめ、アメリカから帰国の兄弟全員が会員になっている。親しい友人西園寺八郎が暴漢に襲われ、安田善次郎が朝日平吾に刺殺され、衝撃。

水平社結成・・・1922＝40歳：

(啓明会)は、申請者が高名でも不採用になったり、女性や無名の人にも助成するなど、公平で、日本初の女性理学士の一人、黒田チカのこの年の申請が、初の女性研究者として採用になっている。

関東大震災・・・1923＝42歳：

日本に里帰りの長沢鼎が、(成歓牧場)に立ち寄り、磯長海舟と最後の対面。_関東大震災で麻布鳥居坂の邸宅が倒壊したため、以前から所有していた、武蔵野村吉祥寺に、成蹊学園が移転したのに合わせるように、転居。所有していた土地を、弟たちに分与したり、財界人に譲渡して行く。

護憲三派圧勝1924＝43歳：

この年の全米アマチュア・トーナメントのゴルフ大会で、第六郎が日本人初の優勝者になった。(啓明会)は、「琉球芸術調査」に成功し、

治安維持法・・・1925＝43歳：

「琉球芸術展覧会」も開催。*トマス・グラバーの子倉場富三郎、エドワード・ハンターの子ハンスと、政財界人の釣り愛好クラブ(東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部)を設立し、グラバーが中禅寺湖畔に建て、所有者が変遷していた別荘を、ハンスが購入し、アントニン・レイモンドの改築設計で、クラブハウスにする。長年温めてきたブラックバスの移入を、帝大の研究対象として実現、芦ノ湖に放流された。

金融恐慌・・・1927＝45歳：

前年の日本アマチュア選手権で四郎が優勝、この年の第一回日本オープンで六郎が初代チャンピオンになるなど、ゴルフ界は、赤星兄弟時代。

共産党事件・・・1928＝46歳：

(成歓牧場)を会社組織にし、五郎を社長にし、相談役に退く。_東京アングリング倶楽部のクラブハウスが失火で全焼、倶楽部そのものも事実上終焉。

海軍軍縮条約1930＝48歳：

レイモンドに、第四郎の週末別荘、続いて、弟喜介邸の設計を依頼、所員だった吉村順三が担当。

満州事変・・・1931＝49歳：

雑誌に、釣り指南の記事を執筆し、「ブラックバス」執筆に取組み始める。株の収入などで、相変わらず高額所得者で、禁酒法で窮地に陥った長沢鼎にも、かなりの融資をしている。

五一五事件・・・1932＝50歳：

アメリカで、長沢鼎が死去。_吉祥寺に、レイモンド設計の新居が完成、傑作とされる。

帝人疑獄事件1934＝52歳：

軍馬の需要がほとんどなくなって、朝鮮の(成歓牧場)での馬生産事業が廃止になり、

芥川直木賞始1935＝53歳：

第六郎邸もレイモンドに設計依頼。農産物が主体になって、(成歓農場)と改称、長男が代表になる。

二二六事件・・・1936＝54歳：

*{(東京ゴルフ倶楽部)の朝霞コースが陸軍に接収され、ゴルフもできない時代になり、

日中戦争始・・・1937＝55歳：

{(東京倶楽部)の会員も日本人に限ることになって、活動は事実上停止。(啓明会)にも圧力、

日米開戦・・・1941＝59歳：

最も可愛がっていた末弟六郎が死去。_吉祥寺の邸宅が陸軍に接収される。

敗戦・・・1945＝63歳：

母静が死去するも、葬儀は身内のみ。_「財産税法」が施行され、8割近い課税が決定的な打撃となり、ほとんどの資産を手放す。以後、大磯の海岸で釣りを楽しみ、釣りについての執筆で、毎日を過ごし、

新憲法公布・・・1946＝64歳：

窮地にあった(啓明会)は、笠森伝繁の尽力で、再開。_「アサヒグラフ」にも登場したりするが、

極東裁判判決・・・1948＝66歳：

仮性尿毒症で、体調を崩し病臥後、_没した。

独立回復・・・1951＝69歳：

ブラックバスは、戦後の進駐軍の余暇のためや密放流で、全国各地の湖沼に展開し、現在では、生態系破壊の外來種として問題になっている。釣りに関する以外、書くこともインタビューに応じることもなかった。弟の四郎と六郎は、プロ育成やコース設計に尽力して日本の近代ゴルフの礎を築いた。鳥居坂の邸宅跡は、国際文化会館になり、吉村とやはりレイモンドの所員だった前川国男が共同で設計し、1955年に完成。吉祥寺の邸宅は、カトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会となって現存。

与那原恵「赤星鉄馬 消えた富豪」